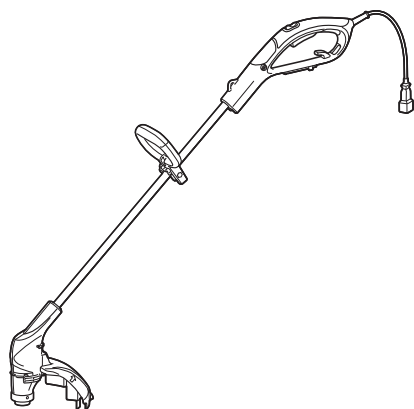


Makita

取扱説明書

電気草刈機

□モデル MUR1600N



金属刃の取り付け方 ▶▶▶ 28

このたびは電気草刈機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意…………… 2

電気草刈機安全上のご注意 …… 10

各部の名称 …………… 21

標準付属品 …………… 22

・ 本製品に別売りの刃物を取り付ける場合

ご使用前の準備…………… 24

- ・ 工具の取りはずし・収納方法
- ・ 飛散防護カバーの取り付け方
- ・ ループハンドル取り付け方

金属刃の取り付け方…………… 28

使い方…………… 35

- ・ 肩掛けバンドの取り付け方
- ・ 肩掛けバンドのはずし方
- ・ 本製品の離脱
- ・ ロックコネクタ付ツナギコード(延長コード)の接続と取りはずし
- ・ スイッチの操作
- ・ フックについて
- ・ 過負荷保護装置(モータ保護機構)について
- ・ 本製品の持ち方
- ・ 刈払作業
- ・ キワ刈りガード

別販売品のご紹介…………… 45

別販売品の使い方…………… 46

- ・ ナイロンコードカッタの取り付け方
- ・ ナイロンコードの引き出し方
- ・ ナイロンコードの交換方法
- ・ 樹脂刃の取り付け方
- ・ 樹脂刃 255 用替刃の交換方法

保守・点検について…………… 62

- ・ 本製品のお手入れ
- ・ ご修理の際は

主要機能…………… 63

電気草刈機 保証書…………… 68



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース(接地)する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて(電気用品安全法適用外の製品)製造されております。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の  警告 ・  注意 ・  注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

作業環境

- 1** 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
- 2** 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
- 3** 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
- 4** 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
- 5** アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

- 1** 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- 2** 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。

⚠ 警告

- 3** 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
- 4** 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
- 5** 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 6** アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
- 7** 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

■ 作業者に関する安全事項

- 1** 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
- 2** 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

⚠ 警告

- 3 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 4 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
- 5 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
- 6 きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 7 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

- 1 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- 2 スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

- 3** 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
- 4** 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- 5** 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 6** 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
- 7** 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
- 8** 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

安全上のご注意

警告

- 9 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- 10 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
- 11 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
- 12 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

整備

- 1 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 警告

その他の安全事項

- 1** 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - ＜異常・故障例＞
 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
- 2** 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- 3** 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
- 4** 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

電気草刈機安全上のご注意

- 先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、草刈機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 1** 本製品は雑草の刈払いを目的とした機械です。この目的以外には、使用しないでください。

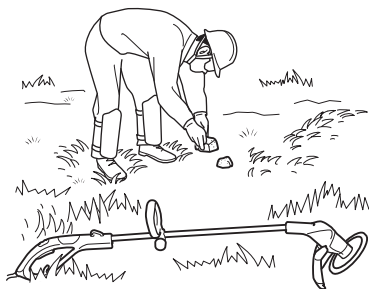
- 目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。また本製品の寿命を縮めます。

- 2** 作業場所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

- 埋設物があると刈刃が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

- 3** 作業場所にある小石、針金、空カン、空ビンなどの障害物は取り除いてから使用してください。

- 使用中に刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、本製品の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故やけがの原因になります。



- 4** 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。

- 転倒してけがの原因になります。



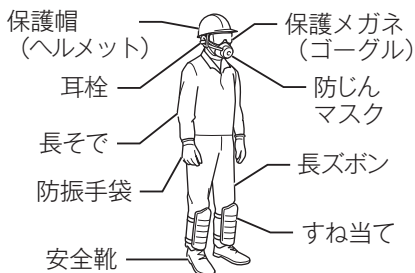
- 5** 刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たる恐れのある場所では使用しないでください。

- 使用中に刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たると、跳ね返りまたは刈刃が破損し、事故の原因になります。

⚠ 警告

6 保護帽（ヘルメット）、耳栓、保護メガネ（ゴーグル）、防振手袋、滑り止めの付いた安全靴、すね当てなどの保護具を着用してください。けがの原因になります。

- ・転倒や頭上の木の枝、落下物などから頭を保護するため、保護帽（ヘルメット）を着用してください。
- ・騒音から聴覚を保護するため、耳栓などの保護具を着用してください。
- ・刈刃部から飛んでくるものから目を保護するため、保護メガネ（ゴーグル）を着用してください。
- ・手の保護のため、防振手袋を着用してください。
- ・刈刃部から飛んでくるものから足を保護するため、底に滑り止めの付いた安全靴（先しん入り）を着用してください。
- ・刈刃部から飛んでくるものから足を保護するため、すね当てを着用してください。
- ・粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。

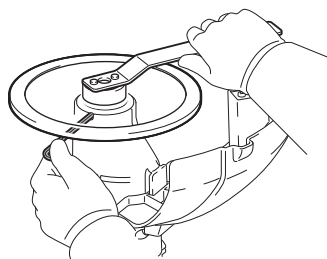


7 袖や裾の締めりのよい服装をしてください。また手ぬぐいやタオルを首からさげて作業しないでください。

- ・回転部に巻き込まれけがの原因になります。

8 刃物（刈刃）類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。また刈刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋および刃物（刈刃）カバーを付け、手や顔などに直接刈刃が触れないようにしてください。

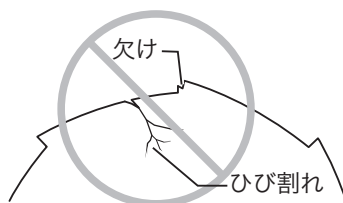
- ・確実に取り付けていないとはずれたりし、けがの原因になります。



⚠ 警告

- 9** 始動前に、刈刃にひび割れ、傷（欠け、摩耗など）、変形などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、刈刃点検時には手袋を着用してください。

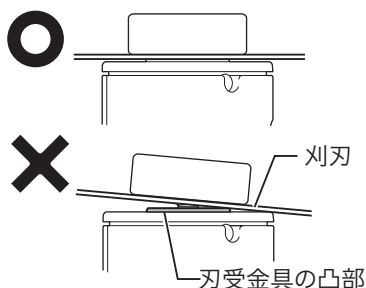
- ・異常があると刈刃が破損し、けがの原因になります。



[刈刃の拡大図]

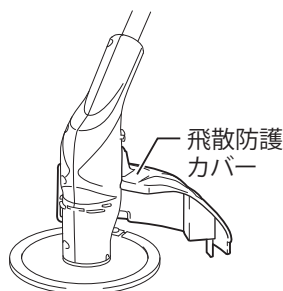
- 10** 刈刃を取り付ける場合は、刃受金具の凸部と刈刃の取り付け穴を確実にはめてください。

- ・刈刃が正しく取り付けられていないと異常振動し、けがの原因になります。
- ・刈刃が破損したり、はずれたりすると事故の原因になります。



- 11** 飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。また、ひび割れや変形など異常のある飛散防護カバーは使用しないでください。

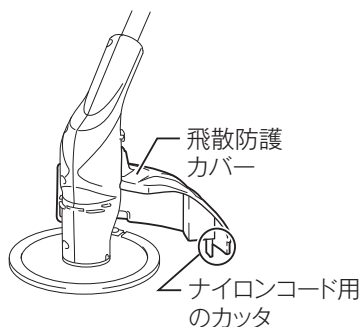
- ・飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けないで使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。
- ・異常のある飛散防護カバーは使用中に破損して、けがの原因になります。



⚠ 警告

- 12** ナイロンコードカッタを使用できる製品は、ナイロンコードカッタ専用の飛散防護カバーを使用してください。飛散防護カバーを取り付けるときは、ナイロンコード用のカッタに触れないでください。

- ・ けがの原因になります。
- ・ 故障の原因になります。



- 13** ハンドルと肩掛けバンドは取扱説明書に従って確実に取り付けてください。肩掛けバンドを着用して、本製品を体の右側に吊り、草刈刃が地面と平行になるように肩掛けバンドの長さを調整するとともに、ハンドルの取り付け位置も指定の位置で調整してください。

- ・ 肩掛けバンド、ハンドルを取りはずして作業するとけがの原因になります。



- 14** 本製品は両手でハンドルを確実に保持し、体重が両足にかかるように適度に足を開いて使用してください。その際、ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。

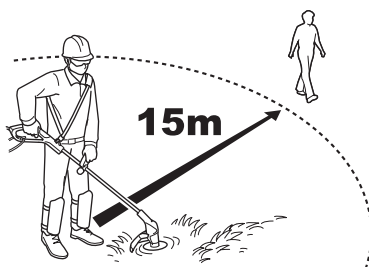
- ・ 確実に保持していないと、作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。



⚠ 警告

- 15** 本製品を始動させる前に、半径 15 m 以内に他の人や動物がいらないことを確認してください。特に子供やペットが近くにいるときは、半径 15 m 以内にかかわらず使用しないでください。

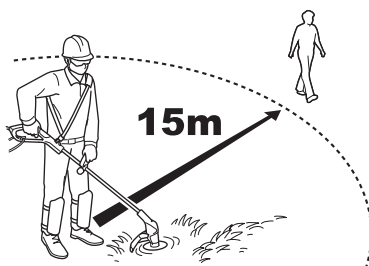
- ・ 不用意に他の人や動物などを近づけると、飛散物が当たるなど思わぬ事故の原因になります。



- 16** 使用中は半径 15 m 以内に他の人や動物などを近づけないでください。また 2 人以上で作業を行うときは、お互いに 15 m 以上の間隔を取り、監督者を置いてください。

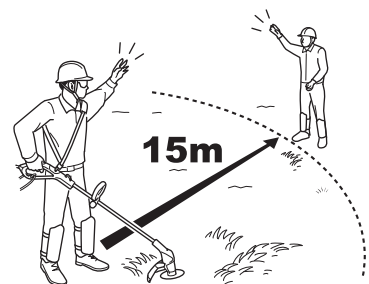
使用中、15 m 以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちにスイッチを切り作業を中止して注意をうながしてください。

- ・ 不用意に他の人や動物などを近づけると、飛散物が当たるなど思わぬ事故の原因になります。



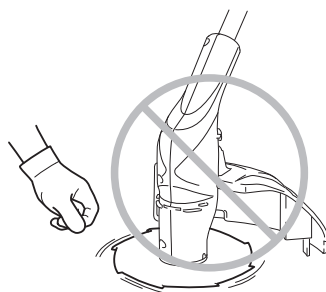
- 17** 本製品を使用している人に近づくときは、使用者から 15 m 以上離れた位置で合図し、スイッチを切り、刈刃の回転停止を確認してから近づいてください。

- ・ 不用意に他の人や動物などを近づけると、飛散物が当たるなど思わぬ事故の原因になります。



⚠ 警告

- 18** 回転している刈刃に手や顔や髪の毛、衣服などを絶対に近づけないでください。
・ けがの原因になります。



- 19** 刈刃に雑草などがからみついたときは、必ずスイッチを切り、刈刃の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。
・ 刈刃が回ったままではけがの原因になります。

- 20** 刈刃から手や足、延長コードが離れていることを確認してから始動してください。
・ けがや延長コードの破損の原因になります。

- 21** 刈刃で打つ、たたくなどの方法で刈払作業をしないでください。
・ 跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。



- 22** 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、または当社営業所まで点検・修理をお申し付けください。
・ そのまま使用しているとけがなど事故の原因になります。



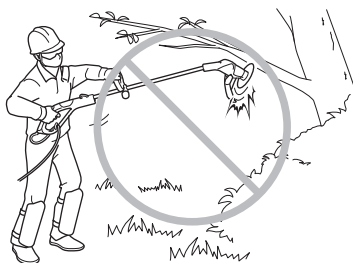
⚠ 警告

23 次のような操作・作業はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・ 刈刃を膝より高く持ち上げての作業
- ・ 刈刃が足元に近づくような作業
- ・ 刈刃が水たまりなどの水に触れるような作業
- ・ 刈刃が土に入り込むような作業
- ・ 本製品をバイス（万力）などで固定した作業

24 枝打ちなどの作業はしないでください。

- ・ 樹木や切株などの障害物に刈刃を接触させると、キックバックが起き大変危険です。



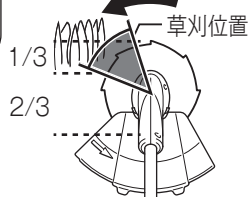
25 キックバック現象が起きにくい刈刃の位置で刈払作業をしてください。

- ・ 本製品は刈刃が反時計方向に回転します。図を参考に、刈刃の左側の前 1/3 を目安にして、刈刃を右から左に操作して草を刈ってください。

正しい刈払方向



刈刃回転方向



- ・ 刈刃の先端から右側部分で草を刈ったり、硬いものに接触すると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、本製品が右側に大きくはねるキックバック現象が発生することがあり、けがや事故の原因になります。

危険な刈払方向

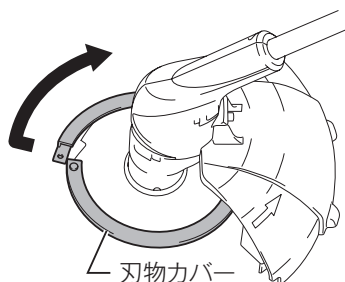


刈刃回転方向



⚠ 警告

- 26** 作業中に電源コードや延長コードが損傷したときは、直ちにスイッチを切って作業を中止し、電源から切り離してください。電源プラグから電源コンセントを抜くときは、損傷したコードに直接触れないでください。
- ・ 損傷した電源コードや延長コードは感電の原因となります。
- 27** 誤って本製品を落したり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ・ 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
- 28** 刈刃は刃物（刈刃）軸最高回転数よりも高い許容回転数のものを使用してください。
- ・ 刈刃の許容回転数が低いと刈刃が破損し、事故の原因になります。
- 29** 作業に合った刈刃の回転数で使用してください。
- ・ 回転数が低すぎますと雑草がからみつくことがあります。
 - ・ 回転数が高すぎますと電力を無駄に消費するだけでなく、本製品の寿命を縮める原因にもなります。
- 30** 使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがないか確認してください。
- ・ 不完全な本製品を使用するとけがの原因になります。
- 31** 作業を始める前に刈刃から刃物（刈刃）カバーを取ってから使用してください。

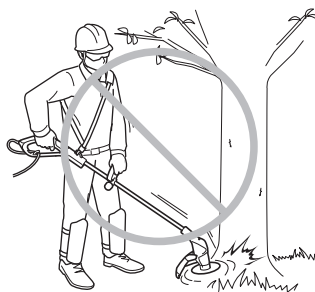


- 32** 使用中に刈刃が石などの障害物に当たったときは、すぐに本製品を停止させ異常がないか調べてください。
- ・ そのまま使用していると事故の原因になります。

⚠ 警告

- 33** 刈刃が地面や樹木、その他の障害物に触れていないことを確認してから始動してください。

- ・ 刈刃が障害物に触れていると事故の原因になります。



- 34** ナイロンコードカッタを使用できる製品は、ナイロンコードの長さ調整後、ナイロンコードが地面や樹木、その他の障害物に触れていないことを確認してから始動してください。

- ・ ナイロンコードが障害物に触れていると事故の原因になります。

- 35** 休憩時など本製品から離れるときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま放置すると、事故の原因になります。

- 36** 保守・点検の際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

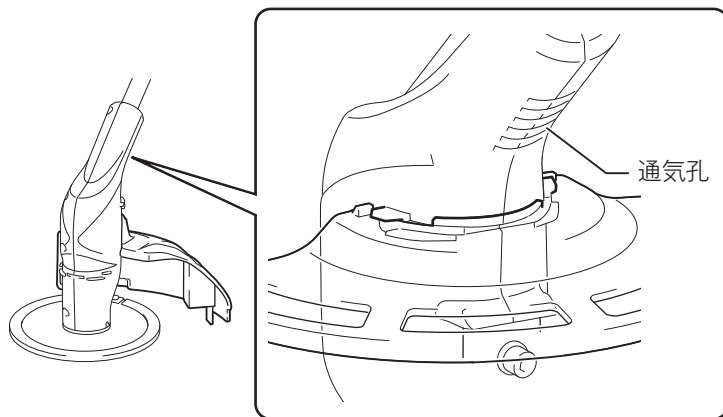
- 37** 本製品は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は身体に負担をかけることがありますので、定期的に休息をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。

- ・ 力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に身体への負担にご注意ください。

⚠ 警告

38 通気孔を雑草や刈った草のくずなどでふさがないように、常に注意してください。

- ・ モータの故障の原因になります。

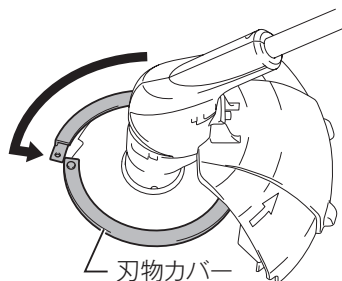


⚠ 注意

1 身体を冷やさないような服装で作業してください。

2 運搬時や保管時、休憩時は刃物（刈刃）カバーを必ず取り付けてください。

・ けがの原因になります。



3 万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場の近くに備え付けてください。救急箱から持ち出した場合には、直ちに交換品を入れておいてください。

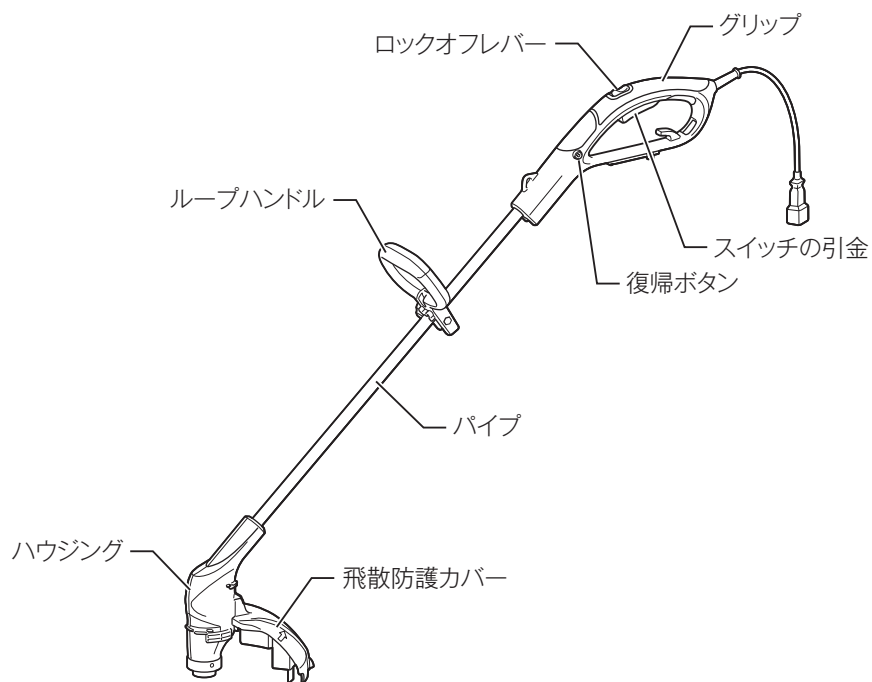
4 注意ラベルがはがれてしまった場合は、新しい注意ラベルを貼ってください。

注意ラベルは、お買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所に手配をお申し付けください。

5 いつも安全に能率よくご使用いただくために定期点検をおすすめします。点検はお買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所にお申し付けください。

・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因になります。

各部の名称

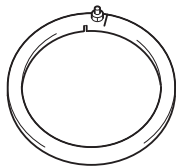


標準付属品

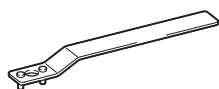
- ・ 金属刃160（内径20 mm）



- ・ 刃物カバー



- ・ ロックナットレンチ



- ・ ガード（金属刃、ナイロンコードカッタ用）



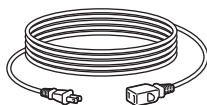
- ・ 刃押金具



- ・ キワ刈りガード



- ・ ロックコネクタ付 ツナギコード（10 m）



- ・ 肩掛けバンド



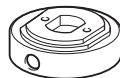
- ・ 六角棒レンチ



- ・ 保護メガネ



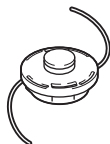
- ・ 刃受金具



本製品に別売りの刃物を取り付ける場合

必要な部品をご購入ください。

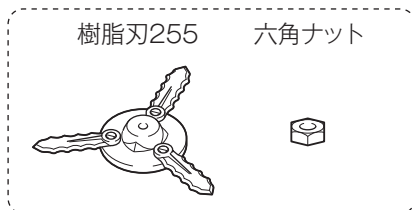
- ・ ナイロンコードカッタを取り付ける
 - ・ ナイロンコードカッタ(ウルトラメタルローラー4)



取り付け手順の説明⇒ 46 ページ

- ・ 樹脂刃を取り付ける

- ・ 樹脂刃255セット品



- ・ ガード (樹脂刃255用)



取り付け手順の説明⇒ 57 ページ

ご使用前の準備

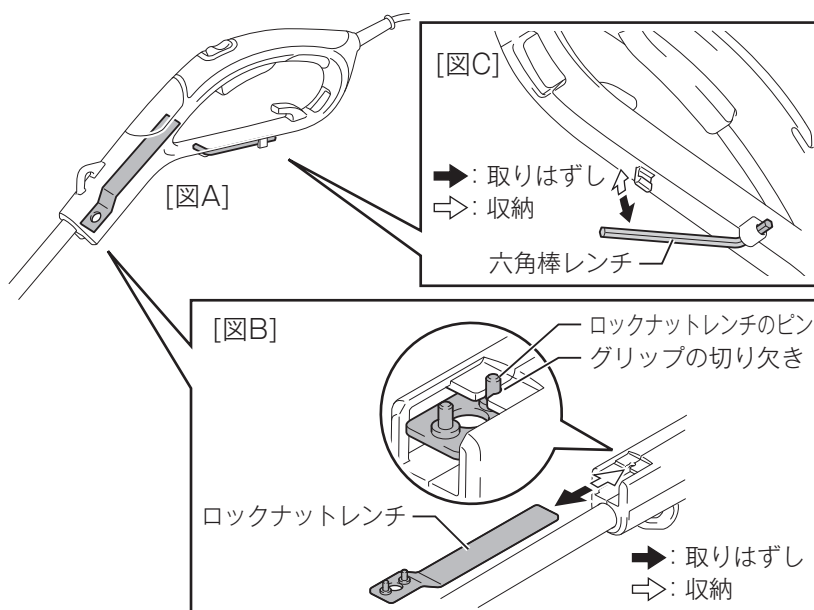
工具の取りはずし・収納方法

⚠ 警告

本製品の組み立てや工具、付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

- ・ロックナットレンチ、六角棒レンチは図 A の位置に収納されています。
- ・それぞれが、図 B、図 C のように取りはずすことができます。
- ・収納するときは、取りはずしと逆の手順で行います。



注

- ・ロックナットレンチを取りはずすときは、強く引いてください。このとき、グリップの端などに手が当たらないように注意してください。

飛散防護カバーの取り付け方

警告

本製品の組み立てや工具、付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

飛散防護カバーをはずした状態で使用しないでください。

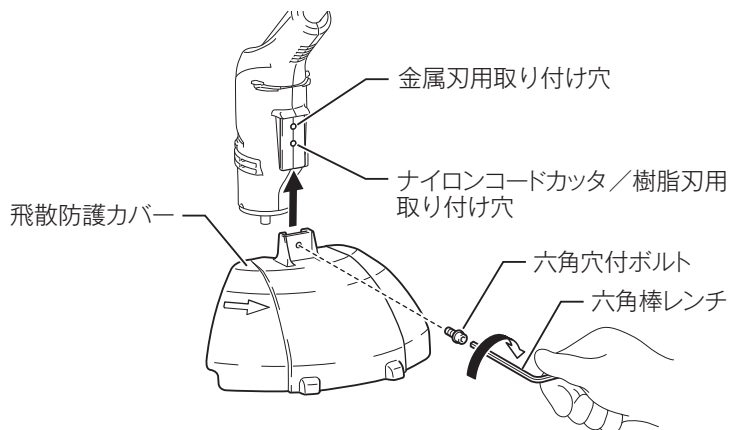
- ・ 事故やけがの恐れがあります。

飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。また、ひび割れや変形など異常のある飛散防護カバーは使用しないでください。

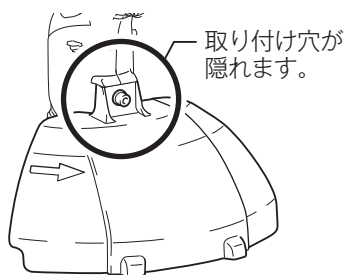
- ・ 飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けずに使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。
- ・ 異常のある飛散防護カバーは使用中に破損して、けがの原因になります。

ご使用前の準備

- 飛散防護カバーを固定する六角穴付ボルトは、製品出荷時にモータハウジング側の下側の取り付け穴に仮止めしてあります。使用する刃物によって飛散防護カバーの取り付け位置が異なりますので、仮止めの位置に限らずに取り付け位置を確認してください。



[取り付け完成図]



ご使用前の準備

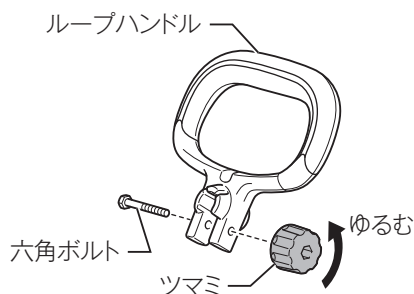
ループハンドルの取り付け方

⚠ 警告

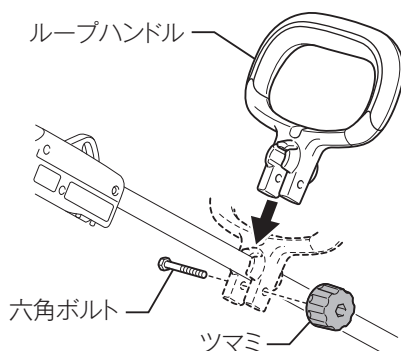
本製品の組み立てや工具、付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

1. ツマミをゆるめて、ループハンドルからツマミと六角ボルトをはずします。

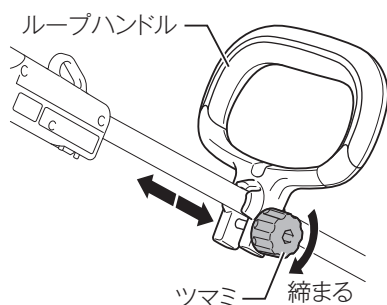


2. ループハンドルをパイプに差し込み、六角ボルトとツマミを取り付けます。



3. ツマミを右に回して、しっかり固定します。

・ ループハンドルの取り付け位置は作業に合わせて調整してください。



金属刃の取り付け方

⚠ 警告

外径が 160 mm 以下の刃物（金属刃）を使用してください。

外径が 160 mm を越える刃物（金属刃）を使用しないでください。

- ・ けがの原因になります。

金属刃の取り付け、取りはずしの際はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

金属刃を取り付けるときは、金属刃の取り付け穴を刃受金具の凸部に確実にはめ込んでください。

- ・ 金属刃が正しく取り付けいていないと異常振動し、事故の原因になります。

金属刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋および刃物（金属刃）カバーをしてください。

- ・ けがの原因になります。

金属刃の取り付け、取りはずしには、必ず付属のロックナットレンチを使用してください。

- ・ 付属工具以外で締め付けた場合、締め過ぎや締め付け不足となり、事故の原因になります。

金属刃にひび割れ、傷（欠け、摩耗など）、変形などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、金属刃の点検時には必ず手袋を着用してください。

- ・ 異常があると金属刃が破損し、けがの原因になります。

作業時、金属刃に異常が発生したときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて金属刃の回転が止まったことを確認してから点検、交換を行ってください。

金属刃を固定する刃押金具は消耗品です。摩耗や変形がありましたら交換してください。

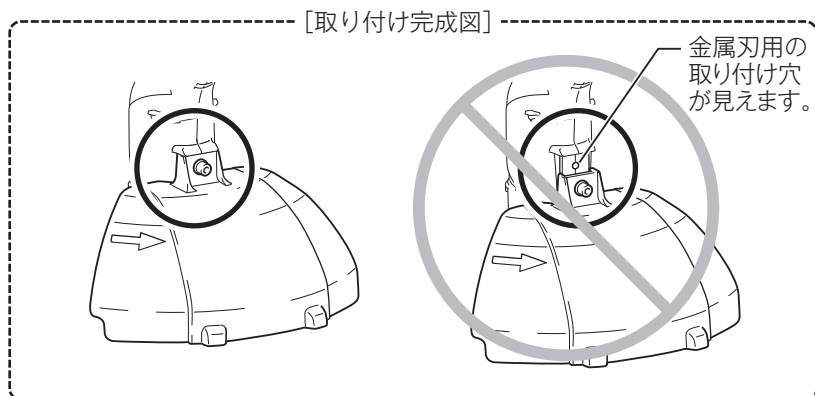
本製品は刃受金具の形状が表と裏で異なります。取り付ける刃物に合わせて、刃受金具の表・裏を選択してください。

飛散防護カバーを固定する六角穴付ボルトは、製品出荷時にモータハウジング側の下側の取り付け穴に仮止めしてあります。使用する刃物によって飛散防護カバーの取り付け位置が異なりますので、仮止めの位置に限らずに取り付け位置を確認してください。

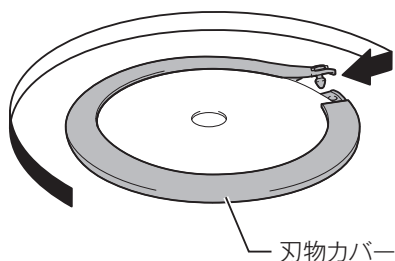
金属刃の取り付け方

- ・ 取り付け、取りはずしに必要な六角棒レンチとロックナットレンチがグリップ部に収納してありますので取り出します（24 ページ参照）。

1. 飛散防護カバーの取り付け位置を確認します。取り付け位置が間違っているときは、正しい位置に取り付け直してください（25 ページ参照）。

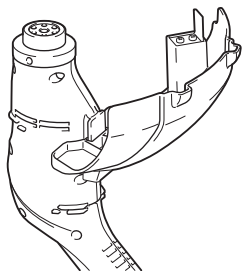


2. 金属刃に刃物カバーを取り付けます。

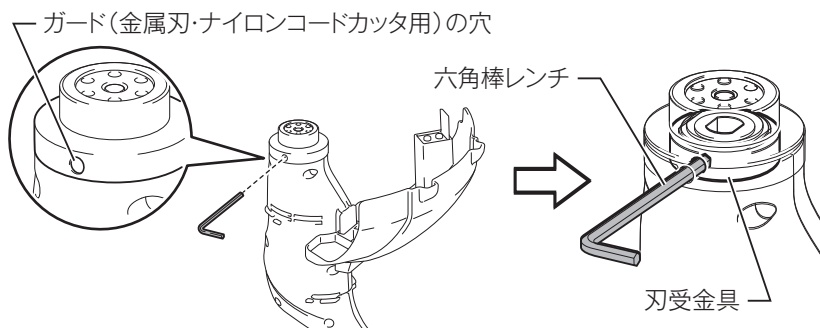


金属刃の取り付け方

- 3.** 金属刃を交換しやすいように本製品を裏返します。

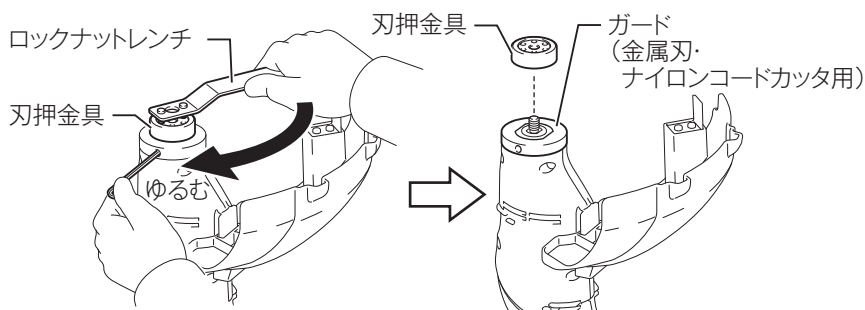


- 4.** ガード（金属刃・ナイロンコードカッタ用）とハウジング横の穴位置を合わせて六角棒レンチを差し込み、刃受金具が回らないように固定します。



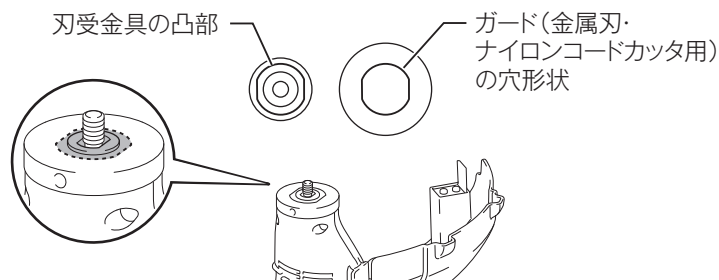
金属刃の取り付け方

5. 刃押金具を付属のロックナットレンチで右へ回して、刃押金具をはずします。



6. 刃受金具の凸部とギャド（金属刃・ナイロンコードカッタ用）の穴形状が合っていることを確認します。

※傾きやズレがある場合は、取り付け直してください。



⚠ 刃受金具の向きを必ず確認してください。

取り付け時に見える形状



(内径 20 mm)

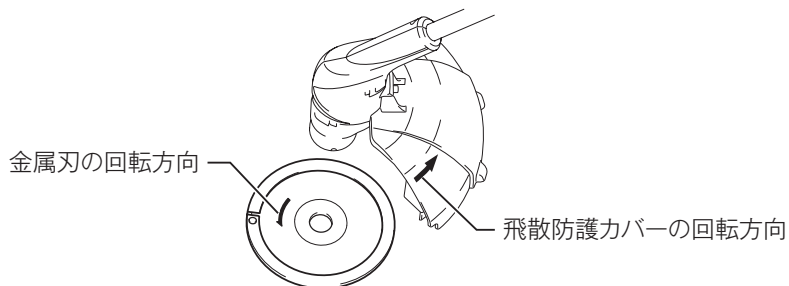


(内径 25.4 mm)

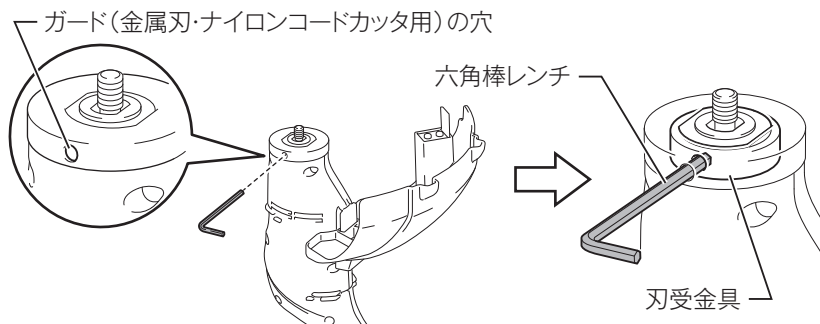
- ・裏表を間違えると危険です。
- ・取り付け時に見える形状が違うときは、刃受金具を裏返しにしてください。

金属刃の取り付け方

- 7.** 金属刃の回転方向と飛散防護カバーの回転方向を合わせます。



- 8.** ガード（金属刃・ナイロンコードカッタ用）とハウジング横の穴位置を合わせて六角棒レンチを差し込み、刃受金具が回らないように固定します。

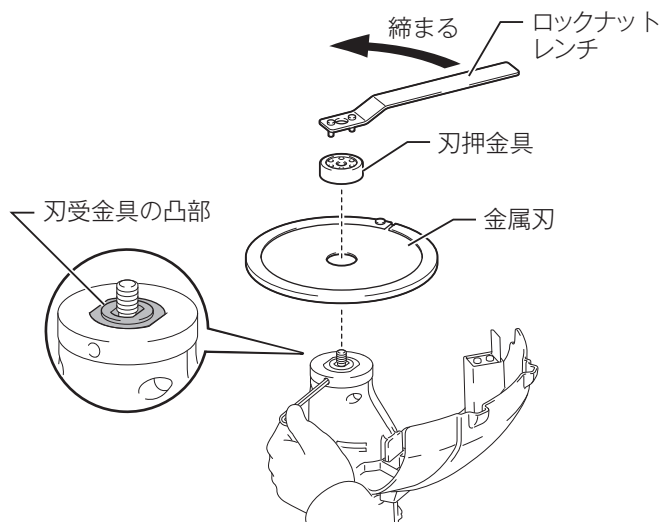


金属刃の取り付け方

9. 金属刃→刃押金具の順に取り付けます。

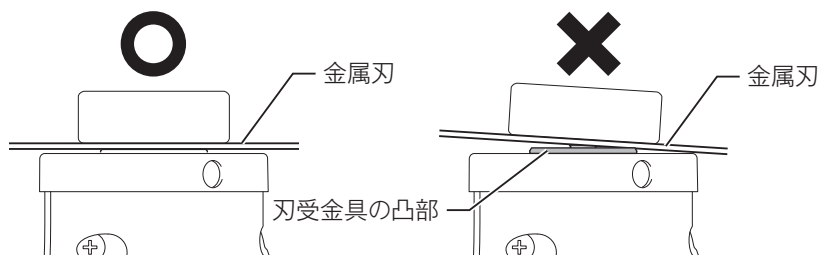
- ・このとき、刃受金具の凸部と金属刃の取り付け穴を合わせます。

10. 刃押金具をロックナットレンチで左に回してしっかり締め付けます。

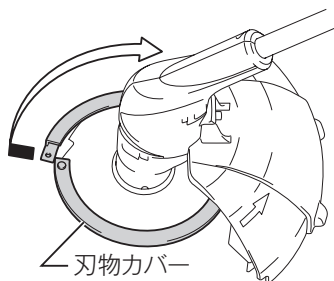


11. 六角棒レンチとロックナットレンチをはずし、金属刃を手で軽く回して金属刃の取り付け穴が刃受金具の凸部からずれていないことを確認します。ずれている場合は、もう一度金属刃を取り付け直してください。

- ・取り付け完了後は、六角棒レンチとロックナットレンチをハンドルに収納してください。



12. 刈り払い作業を行うときは、刃物カバーを取りはずしてください。



- ・ 金属刃をはずすときは、取り付け方と逆の手順で行います。

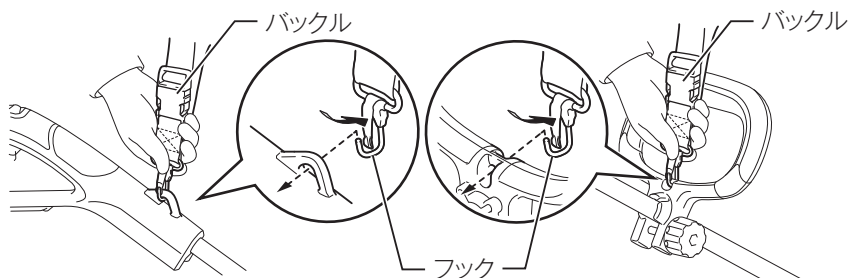
肩掛けバンドの取り付け方

⚠ 警告

本製品の組み立てや工具、付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

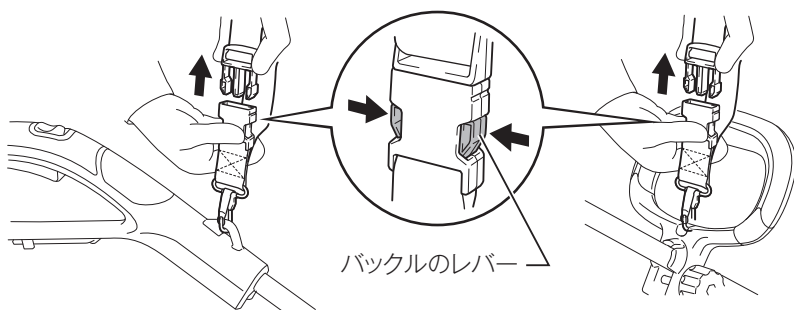
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

- ・ 肩掛けバンドは、ハンドル、ループハンドルのどちらか使いやすい方に取り付けてください。
- ・ 肩掛けバンドを左肩へたすき掛けし、フックを本製品に引っ掛けます。
- ・ フックおよびバックルを引っ張って抜けないことを確認してください。



肩掛けバンドのはずし方

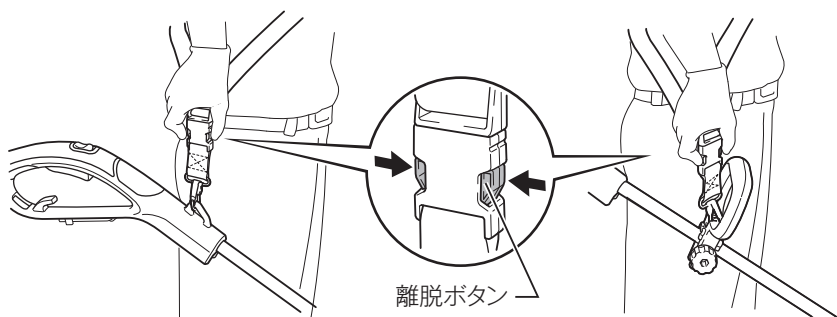
- ・ バックルのレバーを強く押すとバックルがはずれます。



使い方

本製品の離脱

- ・ 緊急時、緊急離脱装置の離脱ボタンを両側から押すと、バンドが切り離され本製品が落下します。



⚠ 警告

緊急離脱のときは、本製品の支持に細心の注意を払ってください。

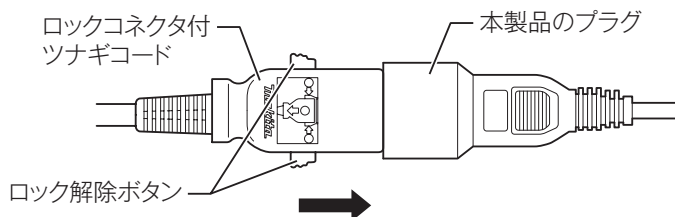
本製品のコントロールを失うと、作業員自身または第三者が死亡あるいは重傷を負う可能性があります。

ロックコネクタ付ツナギコード(延長コード)の接続と取りはずし

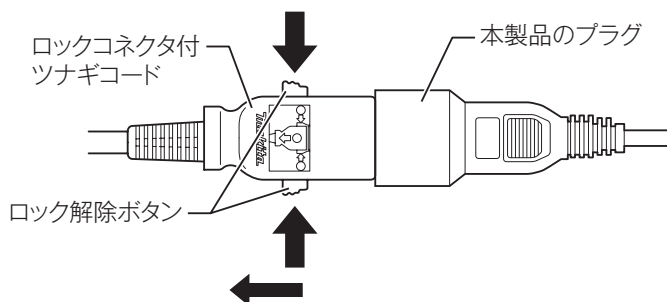
⚠ 警告

ロックコネクタ付ツナギコードを本製品のプラグに接続するときはスイッチが切れていることとロックコネクタ付ツナギコードが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。
- ・ ロックコネクタ付ツナギコードを本製品のプラグに接続するときは、ツナギコードを本製品のプラグの奥まで差し込んでください。



- ・ 取りはずすには、ロック解除ボタンを押した状態で本製品のプラグからツナギコードを引き抜きます。



注

- ・ ロックコネクタ付ツナギコードと本製品のプラグを接続したまま、コードを無理に引っ張ったり、本製品をぶら下げないでください。
- ・ ロック解除ボタンを押さずに、無理にプラグを引き抜かないでください。故障の原因になります。
- ・ ロックコネクタ付ツナギコードは、ほかの電気製品に使用しないでください。

スイッチの操作

⚠ 警告

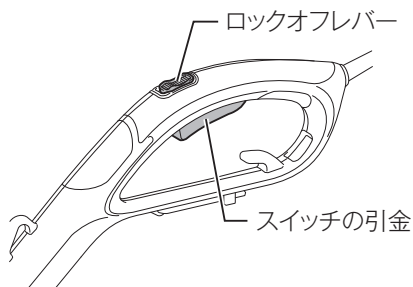
電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを電源コンセントに差し込むと、急に動き出し、事故の原因になります。

刈刃が地面や樹木、その他の障害物に触れていないことを確認してから始動してください。

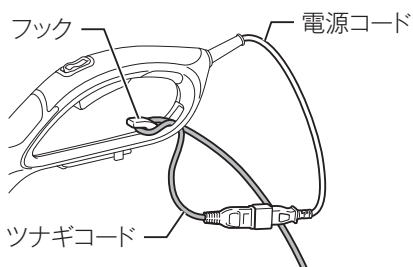
- ・ 刈刃が障害物に触れていると事故の原因になります。

- ・ スイッチはロックオフレバーを前方に押して、スイッチの引金を引くと入り、放すと切れます。



フックについて

- ・ 図のようにツナギコードをグリップのフックにかけることで、手元でのたるみをなくします。



過負荷保護装置（モータ保護機構）について

⚠ 警告

過負荷保護装置を復帰させるときは、必ずスイッチを切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

- ・ スイッチを入れたまま押すと、急に動き出し、事故の原因になります。

過負荷の原因を取り除くときは、必ずスイッチを切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ 本製品には過負荷保護装置がついています。
- ・ 使用中の異常な負荷に対して過負荷保護装置が働き、自動的に停止します。
- ・ 過負荷保護装置が働いた際は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜き、過負荷の原因を取り除いてください。

その後、本製品を 1 ～ 2 分休ませた後、復帰ボタンを押してから運転を再開してください。



注

- ・ 草刈刃を地面に押しつけて作業した場合や草がからまるなどした場合、過負荷がかかると過負荷保護装置が働くことがあります。

使い方

注

- ・本文中の「草刈刃」は下記の刃物を総称しています。

- 金属刃
- 樹脂刃
- ナイロンコードカッタ

本製品の持ち方

⚠ 警告

本製品は身体の右側に、両手でハンドルを保持してください。

- ・思いがけない反発などが、けがや事故の原因になります。

電源コードは作業の後ろ側にくるようにしてください。

- ・電源コードが草刈刃の近くにあると、切断や事故の原因になります。

- ・草刈刃が地面と平行になるように肩掛けバンドの長さを調整するとともに、ループハンドルの取り付け位置も調整してください。



刈払作業

⚠ 警告

草刈刃に雑草などがからみついたときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、草刈刃の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。

- ・ 草刈刃が回ったままではけがの原因になります。

草刈刃で打つ、たたくなどの方法で刈払作業をしないでください。

- ・ 跳ね返りや草刈刃が破損し事故の原因になります。

雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。またハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。

- ・ 転倒してけがの原因になります。

草刈りする場所にある小石、針金、空カン、空ビンなどの障害物は取り除いてから使用してください。

- ・ 使用中、草刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、本製品の跳ね返り、草刈刃の破損などにより事故の原因になります。

- ・ 肩掛けバンドを着用して、本製品を身体の右側に吊ってください。
- ・ 両手で保持し、両足に平均に体重がかかるように適当に開いてください。
- ・ 草刈刃を地面から浮かし、スイッチを入れます。

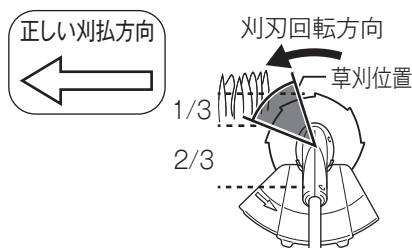
※ウルトラメタルローラー 4（標準付属品のナイロンコードカッタ）は、地面に置いたまま使用することができます。

- ・ 身体のまわりを右から左へ回すようにしながら前進し、雑草を刈ってください。このとき草刈刃を左側へ少し傾けますと、刈った雑草が左側に寄り能率的に作業が行えます。

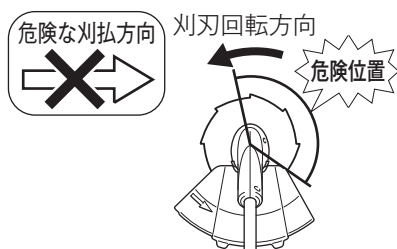


使い方

- キックバック現象が起きにくい刈刃の位置で刈払作業をしてください。
本製品は刈刃が反時計方向に回転します。図を参考に、刈刃の左側の前1/3を目安にして、刈刃を右から左に操作して草を刈ってください。



- 刈刃の先端から右側部分で草を刈ったり、硬いものに接触すると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、本製品が右側に大きくはねるキックバック現象が発生することがあり、けがや事故の原因になります。



- 雑草が高く繁っているときは、まず雑草を高く刈って障害物がよく見えるようにしてからもう一度刈り取ってください。
- 長い草や、からみつやすい草を刈るときは、数回に分けてゆっくり刈ることで草が本製品にからみつにくくなります。

使い方

キワ刈りガード

⚠ 警告

本製品の組み立てや工具、付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

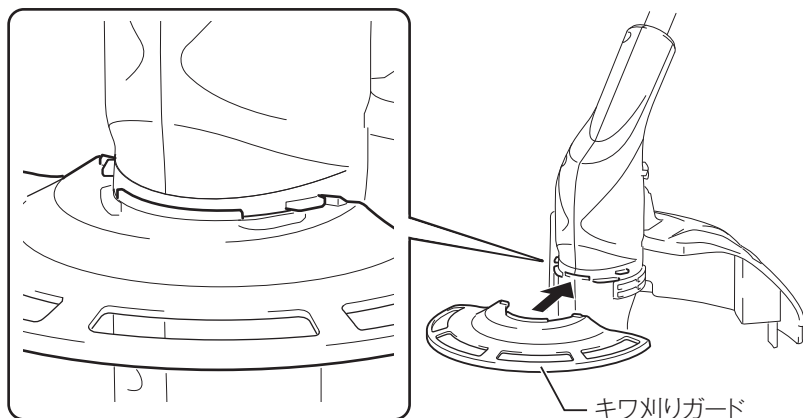
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

・ キワ刈りガードは金属刃 160 を使用時のみ有効です。

注

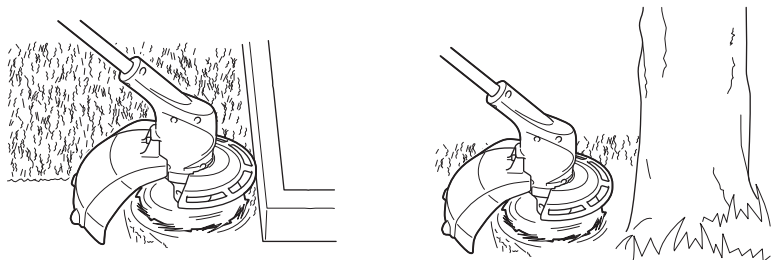
・ ナイロンコードカッター・樹脂刃使用時には、ナイロンコード・樹脂刃がキワ刈りガードよりも外側になり、対象物に傷をつける恐れがあります。

- ・ 金属刃 160 で縁石、フェンス、庭石などの回りを刈り払いされるときは、付属品のキワ刈りガードをご使用ください。
- ・ キワ刈りガードの取り付けは、ハウジングの取り付け溝にキワ刈りガードの内側の突起部を合わせて差し込んでください。
- ・ 縁石、フェンス、庭石などの回りの草刈りは、キワ刈りガードの先端を縁石などに軽く当てながら慎重に刈り込んでください。
- ・ この場合、金属刃を縁石などに当てないように注意してください。
- ・ キワ刈りガードを取りはずす場合は、キワ刈りガードの両端を軽く押さえて手前に抜いてください。



使い方

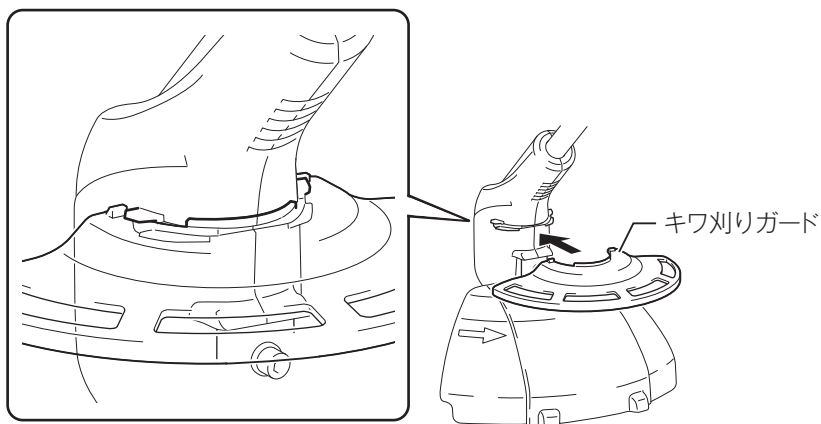
- ・ 縁石や塀、立ち木の周囲の刈り込みをするときはキワ刈りガードを縁石などに沿わせて刈り込んでください。



注

- ・ キワ刈りガードの高さより低い縁石や、凹凸のある縁石の周りを刈り込むときは、刃が縁石に当たらないように注意してください。
- ・ キワ刈りガードを縁石や塀、立ち木などに無理に押し当てると、キワ刈りガードがはずれる場合がありますので注意してください。
- ・ 長い草の刈り払い作業にはキワ刈りガードは草がからみつき不向きです。キワ刈りガードは必要に応じてお使いください。

- ・ キワ刈りガードを使わないときは、ハウジングの裏側に収納できます。



別販売品のご紹介

●別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

- ・ 金属刃 160 (8 枚刃・内径 20 mm)
部品番号：A-20797
- ・ 樹脂刃 255 セット品 (3 枚刃)
部品番号：A-59813
- ・ 樹脂刃 255 替刃セット品 (12 枚入)
部品番号：A-59829
- ・ ウルトラメタルローラー 4
部品番号：A-58241
- ・ 予備ナイロンコード (φ 2.4 3 m 巻)
部品番号：A-15964
- ・ 予備ナイロンコード (φ 2.4 30 m 巻)
部品番号：A-33255
- ・ 予備ナイロンコード (φ 2.4 50 m 巻)
部品番号：A-33261
- ・ ロックコネクタ付ツナギコード (10 m)
部品番号：A-56546

警告

ナイロンコードカッタを使用する際は、別販売品のナイロンコードカッタ用プロテクタを取り付けてご使用ください。

当社指定のナイロンコードカッタ用プロテクタを取り付けることで、ナイロンコードが適切な長さでカットされます。

当社指定以外のナイロンコードカッタ用プロテクタを取り付けた場合、飛散物によるけがや本製品故障の原因になります。

ナイロンコードカッタの取り付け方

⚠ 警告

ナイロンコードカッタの取り付け、取りはずしの際はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

ナイロンコードカッタを取り付けるときは、ナイロンコードカッタの取り付け穴を刃受金具の凸部に確実にはめ込んでください。

- ・ ナイロンコードカッタが正しく取り付けいていないと異常振動し、事故の原因になります。

ナイロンコードカッタの取り付け、取りはずしには、必ず付属のロックナットレンチを使用してください。

- ・ 付属工具以外で締め付けた場合、締め過ぎや締め付け不足となり、事故の原因になります。

ナイロンコードカッタにひび割れ、傷（欠け、摩耗など）、変形などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、ナイロンコードカッタの点検時には必ず手袋および刃物（金属刃）カバーを着用してください。

- ・ 異常があるとナイロンコードカッタが破損し、けがの原因になります。

作業時、ナイロンコードカッタに異常が発生したときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてナイロンコードカッタの回転が止まったことを確認してから点検、交換を行ってください。

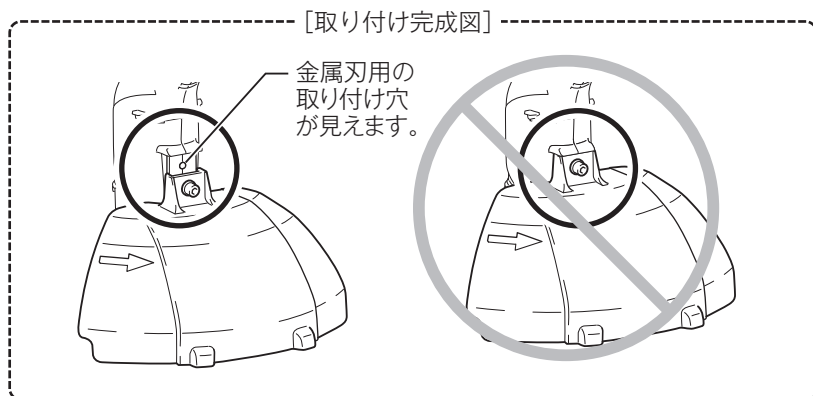
ナイロンコードカッタを固定する刃押金具は消耗品です。摩耗や変形がありましたら交換してください。

飛散防護カバーを固定する六角穴付ボルトは、製品出荷時にモータハウジング側の下側の取り付け穴に仮止めしてあります。使用する刃物によって飛散防護カバーの取り付け位置が異なりますので、仮止めの位置に限らずに取り付け位置を確認してください。

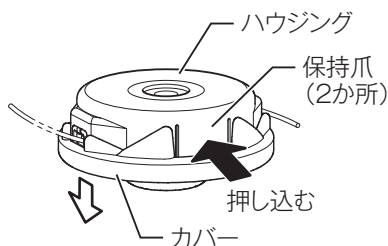
別販売品の使い方

- ・ 取り付け、取りはずしに必要な六角棒レンチとロックナットレンチがグリップ部に収納してありますので取り出します（24 ページ参照）。

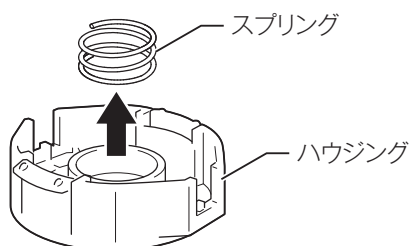
1. 飛散防護カバーの取り付け位置を確認します。取り付け位置が間違っているときは、正しい位置に取り付け直してください（25 ページ参照）。



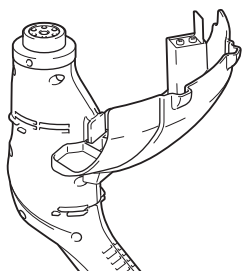
2. ナイロンコードカッタのハウジングの保持爪（2 か所）を押し込んでカバーをはずします。この際、交互に行うとはずしやすくなります。



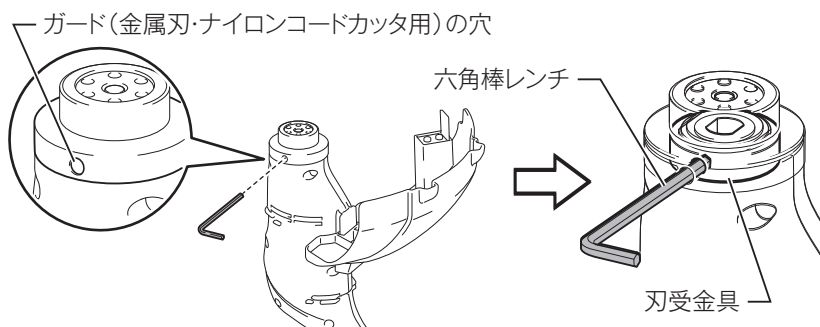
3. ハウジングからスプリングをはずします。



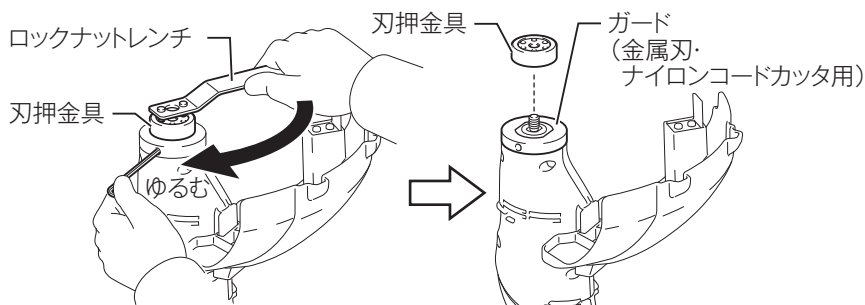
- 4.** 金属刃を交換しやすいように本製品を裏返します。



- 5.** ガード（金属刃・ナイロンコードカッタ用）とハウジング横の穴位置を合わせて六角棒レンチを差し込み、刃受金具が回らないように固定します。

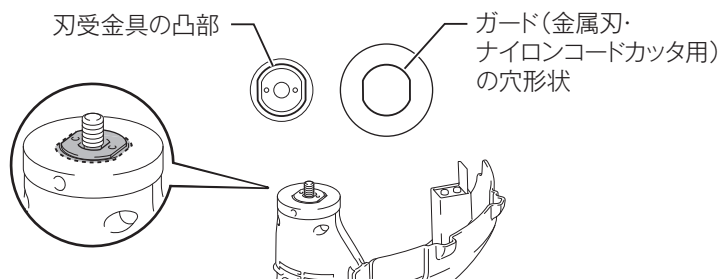


- 6.** 刃押金具を付属のロックナットレンチで右へ回して、刃押金具をはずします。



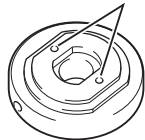
7. 刃受金具の凸部とガード（金属刃・ナイロンコードカッタ用）の穴形状が合っていることを確認します。

※傾きやズレがある場合は、取り付け直してください。

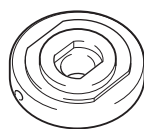


⚠ 刃受金具の向きを必ず確認してください。

取り付け時に見える形状
穴(2か所)



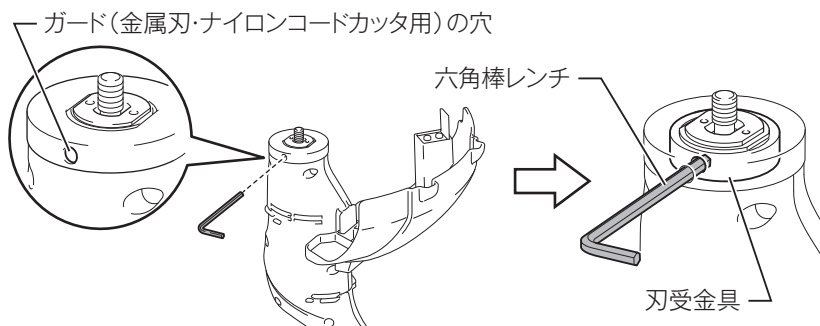
(内径 25.4 mm)



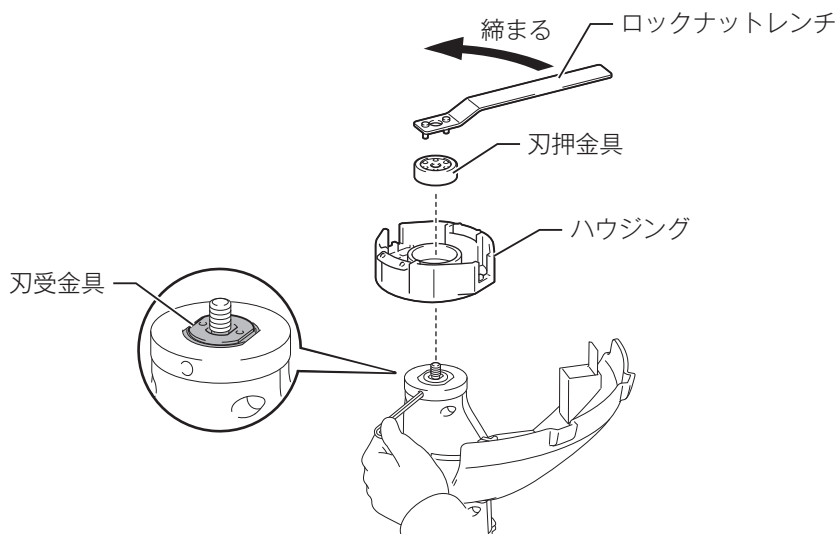
(内径 20 mm)

- ・裏表を間違えると危険です。
- ・取り付け時に見える形状が違うときは、刃受金具を裏返しにしてください。

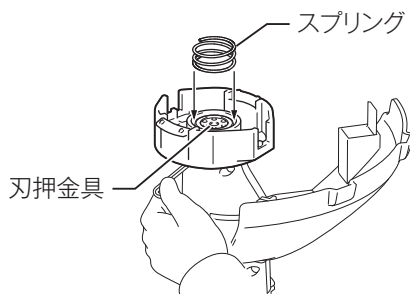
- 8.** ガード（金属刃・ナイロンコードカッタ用）とハウジング横の穴位置を合わせて六角棒レンチを差し込み、刃受金具が回らないように固定します。



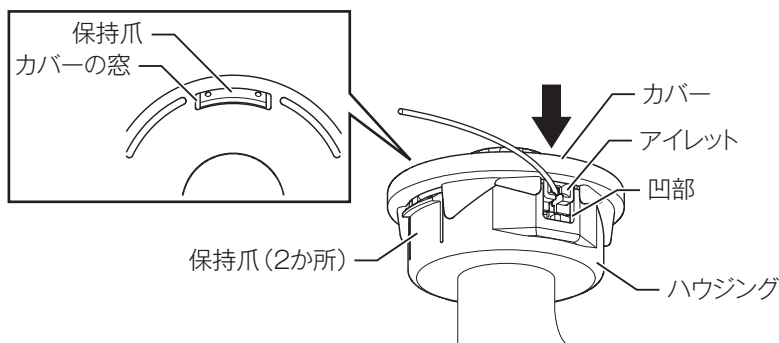
- 9.** ナイロンコードカッタのハウジング→刃押金具の順に取り付け、刃押金具をロックナットレンチで左に回してしっかり締め付けます。



- 10.** 手順 3 ではずしたスプリングを刃押金具とハウジングの隙間に押し込むように取り付けます。



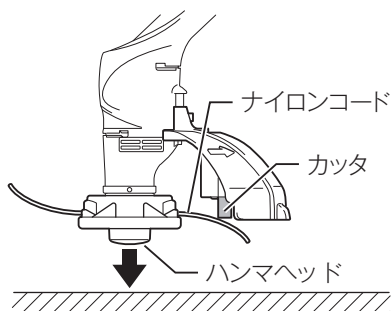
- 11.** カバーのアイレットとハウジングの凹部を合わせ、ハウジングの保持爪 (2 か所) がカバーの窓にしっかりはまり込むまで押し込みます。この際、交互に押し込むとはまりやすくなります。



- 12.** 六角棒レンチをはずし、ナイロンコードカッターを手で軽く回して滑らかに回ることを確認してください。
取り付け完了後は、六角棒レンチとロックナットレンチをハンドルに収納してください。
- ・ ナイロンコードカッターをはずすときは、取り付け方と逆の手順で行います。

ナイロンコードの引き出し方

- ・ 作業中にナイロンコードを引き出したいときは、スイッチを入れたままハンマヘッドを地面などへ軽く打ち当てると自動的にナイロンコードが繰り出されます（もし出ない場合は強めに打ち当ててください）。
- ・ ナイロンコードが長く出すぎた場合、飛散防護カバーに付いているカッターで自動的に長さを調整します。



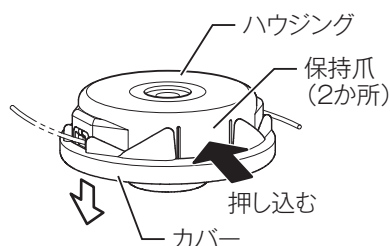
ナイロンコードの交換方法

⚠ 警告

本製品の組み立てや工具、付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

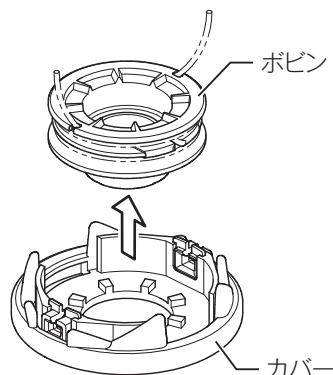
・電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

- 1.** ハウジングの保持爪（2か所）を押し込んで、カバーをはずします。
※片方ずつ行うとはずしやすくなります。



- 2.** カバーからボビンを取り出します。

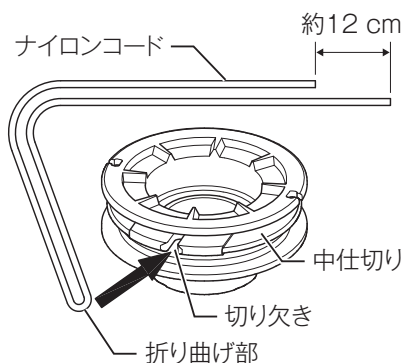
- ・ボビンにナイロンコードがほとんどない場合
残っているナイロンコードをはずし、手順3以降の要領で「新しいナイロンコード」を巻きます。
- ・ボビンのナイロンコードが融着している場合
融着をはがしながらナイロンコードをすべてはずし、手順3以降の要領で「取りはずしたナイロンコード」を巻きます。



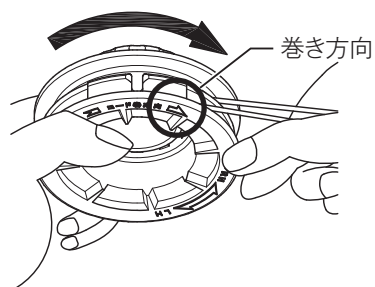
注 ・交換用ナイロンコードは、マキタ純正品をご使用ください。

別販売品の使い方

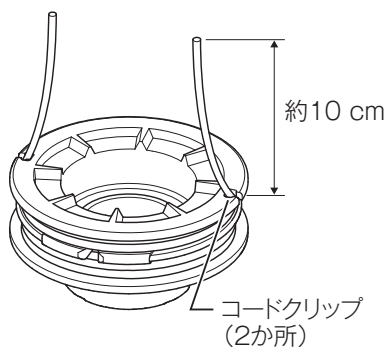
- 3.** ナイロンコードの両端を約 12 cm ずらして折り曲げ、ボビン中仕切りの切り欠きに引っ掛けます。



- 4.** ボビンの巻き方向に従って、ナイロンコードをしっかり巻きます。

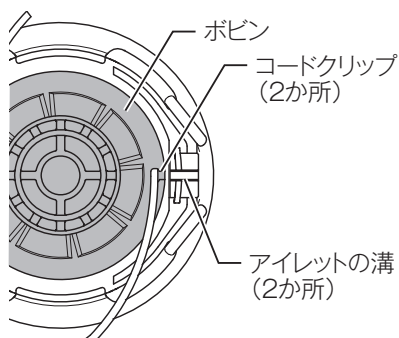


- 5.** 巻き終わったナイロンコードの端を約 10 cm 残して、コードクリップに仮止めます。



注 ・ナイロンコードがゆるまないように注意してください。

- 6.** コードクリップをアイレットの溝に合わせて、ボビンをカバーにセットします。

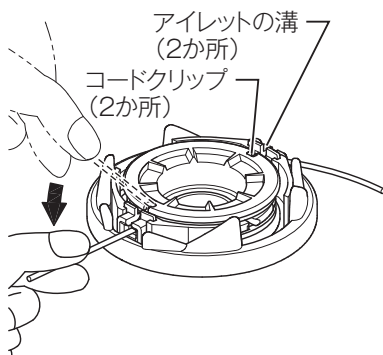


注

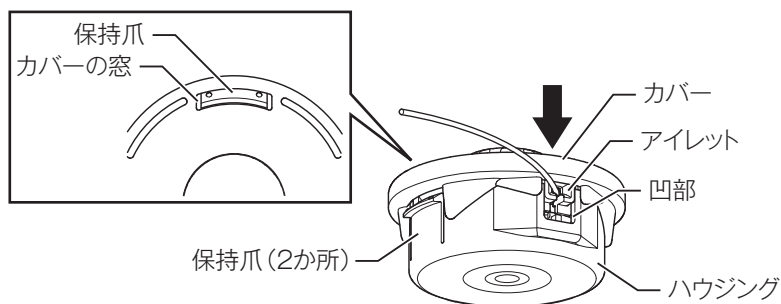
・ ボビンを軽く左右に回して、カバーから浮いていないか確認してください。

- 7.** ナイロンコードをコードクリップからはずし、アイレットの溝に通します。

- 8.** ナイロンコードをハウジングの外へ引き出します。



9. カバーのアイレットとハウジングの「凹部」を合わせ、ハウジングの保持爪（2 か所）がカバーの窓にしっかりはまり込むまで押し込みます。
※片方ずつ押し込むとはめ込みやすくなります。



⚠ 警告

ハウジングの保持爪（2 か所）に確実に固定してください。

- ・ そのままご使用になられますと使用中に分解し飛散して部品の紛失やけがをする恐れがあります。

樹脂刃の取り付け方

⚠ 警告

樹脂刃の取り付け、取りはずしの際はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

樹脂刃を取り付けるときは、樹脂刃の取り付け穴を刃受金具の凸部に確実にはめ込んでください。

- ・ 樹脂刃が正しく取り付けいていないと異常振動し、事故の原因になります。

樹脂刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋および刃物（金属刃）カバーをしてください。

- ・ けがの原因になります。

樹脂刃にひび割れ、傷（欠け、摩耗など）、変形などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、樹脂刃の点検時には必ず手袋を着用してください。

- ・ 異常があると樹脂刃が破損し、けがの原因になります。

作業時、樹脂刃に異常が発生したときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて樹脂刃の回転が止まったことを確認してから点検、交換を行ってください。

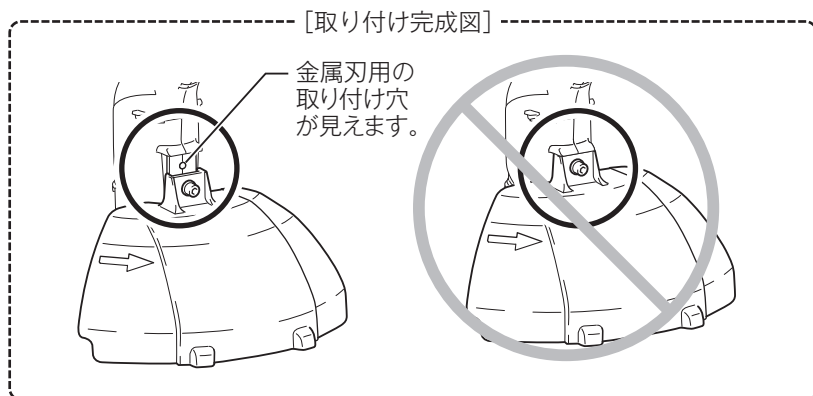
樹脂刃を固定する六角ナットは消耗品です。摩耗や変形がありましたら交換してください。

飛散防護カバーを固定する六角穴付ボルトは、製品出荷時にモータハウジング側の下側の取り付け穴に仮止めしてあります。使用する刃物によって飛散防護カバーの取り付け位置が異なりますので、仮止めの位置に限らずに取り付け位置を確認してください。

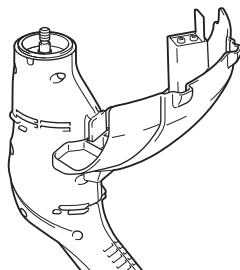
別販売品の使い方

- ・ 取り付け、取りはずしに必要な六角棒レンチがグリップ部に収納してありますので取り出します（24 ページ参照）。

- 1.** 飛散防護カバーの取り付け位置を確認します。取り付け位置が間違っているときは、正しい位置に取り付け直してください（25 ページ参照）。



- 2.** 樹脂刃を交換しやすいように本製品を裏返します。



3. ハウジング、刃受金具、ガード（樹脂刃用）それぞれの穴位置が合うように、刃受金具→ガード（樹脂刃用）の順に取り付けます。

※刃受金具の凸部にガード（樹脂刃用）の穴形状が合い、傾きやズレが無いことを確認してください。

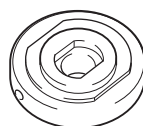
⚠ 刃受金具の向きを必ず確認してください。

取り付け時に見える形状

穴（2か所）

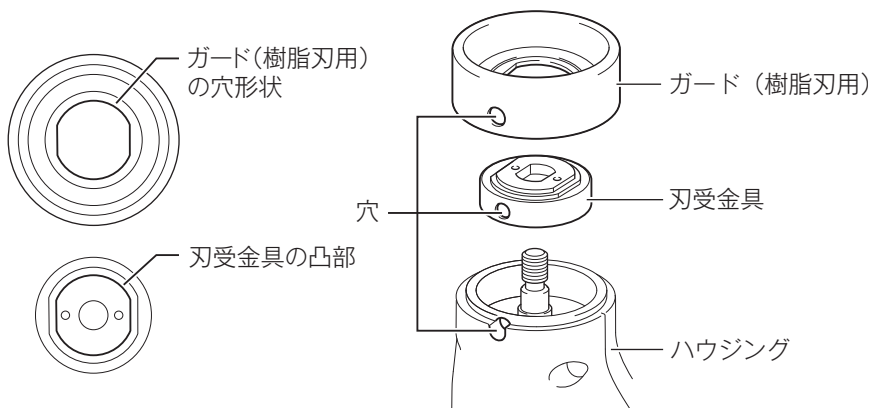


（内径 25.4 mm）



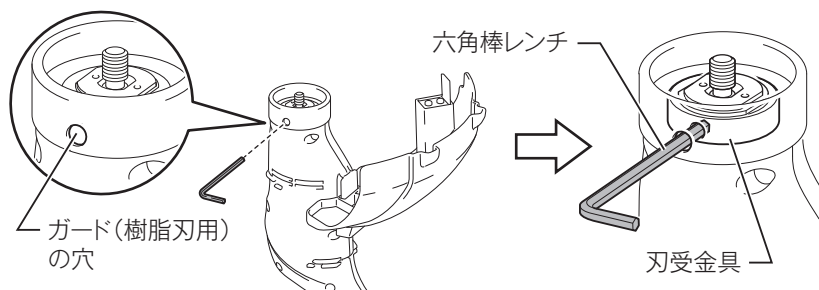
（内径 20 mm）

- ・裏表を間違えると危険です。
- ・取り付け時に見える形状が違うときは、刃受金具を裏返しにしてください。

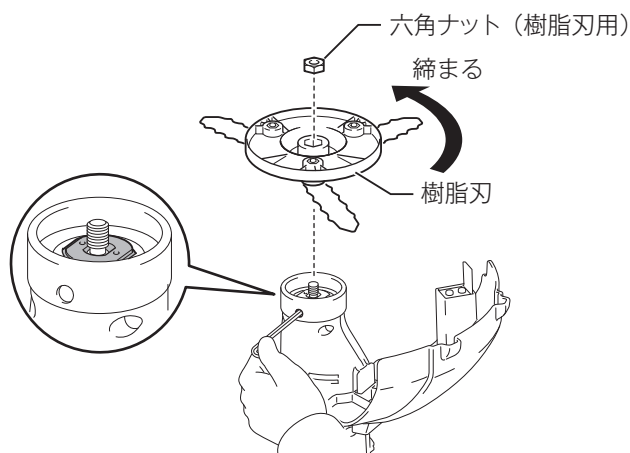


別販売品の使い方

- 4.** ガード（樹脂刃用）の穴から六角棒レンチを差し込み、刃受金具が回らないように固定します。



- 5.** 六角ナットを指で押さえながら手で樹脂刃本体を持ち、左に回してしっかり締め付けます。



- 6.** 六角棒レンチをはずし、樹脂刃を手で軽く回して滑らかに回ることを確認してください。

取り付け完了後は、六角棒レンチをハンドルに収納してください。

- ・ 樹脂刃をはずすときは、取り付け方と逆の手順で行います。

別販売品の使い方

樹脂刃 255 用替刃の交換方法

⚠ 警告

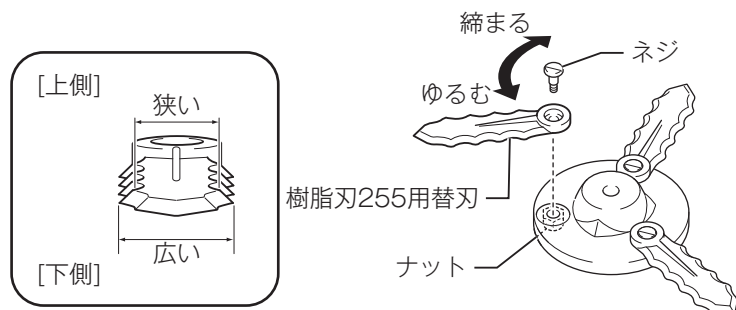
本製品の組み立てや工具、付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

注

- ・ 樹脂刃 255 用替刃は、マキタ純正品をご使用ください。

- ・ ネジをマイナスドライバやコインなどではずし、替刃を交換します。



注

- ・ 替刃の上下を間違えないでください。
- ・ ネジはしっかりと締め付けてください。

保守・点検について

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
- ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

警告

保守・点検の際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

主要機能

主要機能 \ モデル	MUR1600N
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相交流 100 V
電流	3.4 A
周波数	50-60 Hz
消費電力	320 W
回転数	6,500 min ⁻¹ (回転 / 分)
刈り込み幅	160 mm
本製品寸法 (刈刃、飛散防護カバー含む)	長さ×幅×高さ 1,297 mm × 229 mm × 367 mm
質量 (刈刃、刈刃カバー、 肩掛けバンドは含まない)	2.1 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711（代表）

MUR1600N-MJ-2304

IWT